



3年越しの貴重な経験



これは、第1回目の応援合戦の練習の様子です。「大きな声が出せない。」「どうしたら、うまく教えられるんだろう。」「ブロックがまとまらない。」応援団の5、6年生の心の声が聞こえてくるようでした。今年、コロナ禍の中で出来なかった各ブロック全員での応援合戦を3年ぶりに行います。応援合戦は、運動会の中で、各ブロックの5、6年生の応援団の児童が、アイデアを出し合って考えた応援歌や動き、全体の隊形等をもとに、各ブロック約110人の集団を自分たちの力でまとめる種目です。ただ、今年の6年生が最後に応援合戦を経験したのは、コロナ禍になる前の3年生の時までです。お手本となる応援団の記憶が殆どない中の第1回目の応援合戦の練習は、応援団の子どもたちにとって先が見えない不安や、うまく出来るか心配の連続のように映りました。

この日から、今週15日(土)の運動会に向けて5、6年生の子どもたちは、仲間と真剣に悩みながらも、先生からのアドバイス、自分自身の責任感で少しずつ目に見えない壁を乗り越える貴重な経験を積んでいます。また、下級生の子どもたちは、5、6年生のその姿を将来の自分の姿として学んでいます。運動会当日は、各ブロックの子どもたちの晴れ晴れとした姿をご覧ください。

「わたしのサラダ!コンクール」

市主催の5年生を対象にした「わたしのサラダ!コンクール」が行われ、本校5年生の中西 柚羽さんが優秀賞、竹島 航正さんが最優秀賞を受賞しました。

このコンクールは、「カレーライスに合うゆで野菜サラダ」をテーマに筑後市産の野菜や旬の野菜を用いたレシピが募集されました。2人のサラダは、「食べてもらう人を思う気持ち」や、「栄養、食感、色、味のバランス」等の自分らしさが表現されていることが評価されました。

航正さんの「栄養たっぷりサラダ」は、それぞれの学校で市内小中学校の給食のメニューとして登場します
※本校は、10月31日(月)のカレーの日です。



中西 柚羽さん 竹島 航正さん



栄養たっぷりサラダ
(竹島 航正さん)



もやし中華サラダ
(中西 柚羽さん)

【校長のつぶやき】「運動会への思いを表す、それぞれの姿」

今年の運動会は、コロナ禍の中、3年ぶりに全体での開閉会式、応援合戦等、大きな集団の中での活動を行います。このような大きな集団の中での活動は、コロナ禍の中、入学してきた1年生～3年生は、経験したことがありません。そのため、「やりたい」という意欲はあっても、大きな集団での活動に入ることが出来ない子どもたちもいます。又、怪我等の為、参加出来ない子どもたちもいます。ただ、その子どもたちも、中には入れないけれど、近くで見たり、部分的に参加したりしてくれています。たとえ、全部に参加していなくても、参加出来なくても、その子どもたちの運動会に対する頑張ろうという気持ちが伝わってきます。

保護者の皆様には、いろいろな姿で自分の頑張りを伝えてくれている子どもたちへの理解をよろしく願います。